

第二回議論より：アミノサイエンス®をどう社会価値につなげていくか

アミノサイエンス®をコアとして現状のマテリアリティに対する実装（Implementation）を投資家視点で図の形に整理した。取り組みを強化することで社会価値と経済価値を最大化でき、投資家にさらなる成長の可能性を示すことができる。

食を通じたウェルビーイングの実現

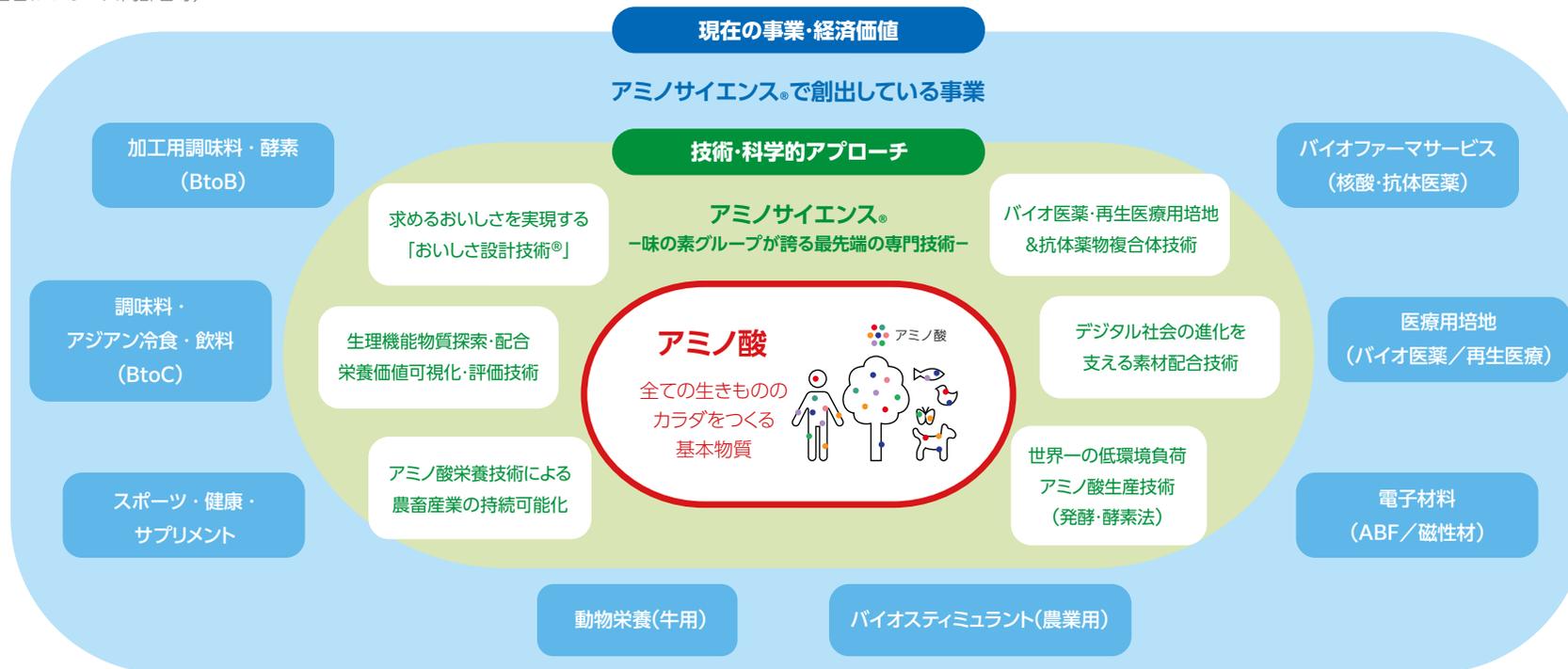
- 各国の調理・共食を通じたWell-being貢献
- あらゆる生活者の健康栄養改善
(一般生活者、アスリート、高齢者等)

先端医療・予防への貢献

- 低副作用の生活習慣病の治療・QOL改善
- 難病治療法の実現
- 医療費削減

重要テーマに紐づく社会価値

アミノサイエンス®で貢献できる人・社会・地球に与える価値



持続可能な地球環境の実現

- プラスチック排出削減
- 農畜生産のGHG(メタン・N2O等)削減
- 農家の生産性・収入向上、再生農業への貢献

スマートソサエティの進化への貢献

- エネルギー削減
- 自動運転・スマート農業の実現
- 高速・高性能コンピューティングの実現